

# 光鯨会だより(第18号)

平成27年7月号

発行：光鯨会 会長：岡本賢 (S39) 本部長+連絡担当者：井戸田秀樹 (S58)  
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 建築・デザイン工学科  
HP : <http://koukokai.jp/home/> E-mail : [koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp](mailto:koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp) TEL052-735-5517

## I 大学は今

### ■本部長挨拶

井戸田秀樹 (S58) 光鯨会本部長/名古屋工業大学教授



光鯨会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度、水谷章夫先生から本部長(旧幹事長)を引き継ぎ、早くも1年が経ちました。昨年7月の光鯨会だより(第16号)で披露させていただいた通り、時間や場所を問わずあらゆる情報が簡単にやりとりできる今日、同窓会には新たな付加価値が求められています。今年度はその付加価値の第一弾として「光鯨会ジョブ・マッチング・サービス」なるものを開始しました。

建築業界も職種の細分化や多様化に伴って、就職後の人事異動がとて流動的になってきました。光鯨会にも新卒だけでなく、こんな職能の卒業生はいませんかという問い合わせをいくつかいただいていた。「光鯨会ジョブ・マッチング・サービス」は、会員対象の転職のサポートとして、企業からの中途採用求人情報、および求職希望情報の提供を行うサービスです。まだ、試行運用期間ではありますが、すでに10件の求人申し込みをい

ただいています。ある程度求人申込数が整ったら、会員向けに求人情報として公開する予定です。また、求職情報もいただければ、求人情報とのマッチングを検討してご連絡差し上げたいと思います。現在は中途採用の情報のみですが、新規採用や学生アルバイトの求人にまで範囲を広げていく予定です。申し込み等については、光鯨会ホームページ(<http://koukokai.jp/home/>)をご覧ください。

光鯨会では、昨年リニューアルしたホームページ(<http://koukokai.jp/home/>)で旬な情報を提供しているほか、大手SNSのFacebookに光鯨会のグループページを開設しています。光鯨会Facebookのメンバーの紹介があればすぐに参加することができます。こちらではクラスの報告や、幹事会のあとの飲み会の様子など、ホームページよりもっと身近な情報をタイムリーにお届けしていますので、ぜひご活用下さい。

これからも光鯨会会員の皆様のさらなるご支援をよろしくお願い申し上げます。

### ■母校近況報告

河田 克博 (S50) 名古屋工業大学教授



今年度の建築・デザイン工学教育類長を務めることになりました。よろしくお願ひ致します。

今年の学部入学の1年生は81名。うちA0入試で入学したのが2名、私費外国人留学生3名で、留学生は全員中国人女子学生です。全体としても32%が女子学生で、本年度から発足した男女

共同参画推進センター(本学科の藤岡伸子教授がセンター長)の方針のひとつに大いに寄与しています。また3年生には編入生が1名入学しました。一方大学院博士前期課程には、49名の学生が建築・デザイン系の学生として入学しました。

教員関係では、まず役職として、上記の藤岡教授のほか、井戸田秀樹教授が高度防災工学センター長を務めており、大学院では河田伸二教授が専攻長、学部では私のほか、兼田敏之教授が副教育類長を担っています。人事異動としては、守明子教授が今年3月末をもって定年退職、是

澤紀子准教授が退職され日本女子大学に赴任されました。また新たに伊藤洋介助教(材料系)が4月から着任され、10月からは主として設計製図担当の教授1名が赴任いたします。

今年の就職状況は、全体的に内定決定が昨年までと比較して後倒しとなっているため、就職希望者の内定状況は、現時点で大学院が50%、学部が65%といったところですが、求人数も増えており、最終的にはほぼ全員が決まると予測しています。

一方、平成28年度から実施される6年一貫教育を主眼とした大学改組が進んでおり、大学院名称は、建築・土木・経営が一体となった「社会工学専攻」で変わりませんが、学部は大学院に対応させて「社会工学科」と学科名称が変わります。ただし本学科の入試だけは、学科全体で募集するのではなく、分野別に募集するので、社会工学科建築・デザイン分野としては、これまでどおり優秀な学生が入学してくれるものと期待しています。入口(入試)から出口(就職)までの保障できる活路、光鯨会の皆様のお力添えを今後ともよろしくお願いいたします。

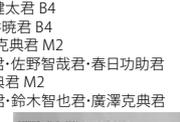
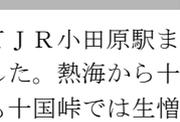
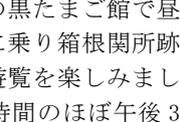
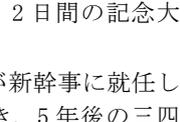
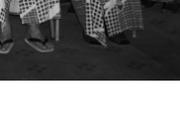
## ■学生の活躍

### 夏目 欣昇 (H5) 名古屋工業大学准教授

この一年間の学生の主な活躍を紹介いたします。

■建築系学生の活躍——加古栞さん「宴のはじまる家」がH26年度光誠会賞を受賞しました。史上初!、2年連続で女子学生が選出されました。ほかには杉岡敬幸君の「ふるまいの共生」がNAF2015とJIA 東海卒計コンクールにおいて最優秀賞をダブル獲得、際立つ評価を得ました。愛知県建築士会学生コンペでは第9回目にして「名工大勢は入賞どまり」のジンクスを破り、山本知慧君ほかのグループが金賞に輝きました。研究方面では、藤川大輝君をはじめ4名が日本建築学会東海支部学生優秀講演賞を受賞しています。現役学生の活躍も目覚ましく、村越勇人君の建築新人戦2014アジア大会準優勝、市井暁君のほか多数が各種コンペに入賞するなど相互研鑽に励んでいます。

■デザイン系学生の活躍——弘中紳二郎君「料理旅館のグラフィックデザイン」が学科長賞を受賞しました。そしてJIDA 中部ブロックデザイン賞にて最優秀賞の松山由樹さんをはじめ3名が受賞しました。また学生有志デザイン団体NDPが「スゴい名工大みつけました展」を企画、師走に市民ギャラリー栄において開催されました。会期6日間で451名の来場者を集め、これまでの彼らの活動をアピールしました。

卒業設計	光誠会賞※1	加古栞さん H27卒	
卒業制作	学科長賞※3	弘中紳二郎君 M1	
中部インテリアプラナー協会	学生賞	杉岡敬幸君 M1	
JIDA 中部ブロックデザイン賞	最優秀賞※4	松山由樹さん M1	
〃	ゲスト賞	安藤風子さん M1	
〃	優秀賞	橋上 篤君 M1	
JIA 東海学生卒業設計コンクール	金賞	杉岡敬幸君 M1	
〃	佳作	榊原崇文君 M1	
〃	入選	小林洗至君 H27卒	
〃	入選	中澤真平君 M1	
〃	入選	杉岡敬幸君 M1	
〃	入選	加藤正都君 M1	
〃	2位	柳原崇文君 M1	
〃	3位	小林洗至君 H27卒	
〃	水野一郎賞	安部信汰君 B4	
INTERNATIONAL BRIDGE CONTEST	準優勝	山田風人君 B4・位田健太君 B4	
〃	準優勝	山崎亮賞 銅賞 市井暁君 B4	
Circos International Architecture Competition	山崎亮賞	山本知慧君 M2・廣澤克典君 M2	
日本建築学会設計競技東海支部 入選	最優秀賞	山本知慧君・田中匠哉君・佐野智哉君・春日功助君	
愛知建築士会学生コンペ	佳作	市井暁君 B4・廣澤克典君 M2	
〃	選外佳作	戸谷奈貴君・鈴木翔麻君・鈴木智也君・廣澤克典君	
環境デザインコンペ/パティオン	優秀賞	大岩良平君 H25卒	
フットパティオン/パティオン	金賞	大岩良平君 H25卒	
リアルハウス設計コンペ	銀賞	戸谷奈貴君 H25卒	
〃	入選	小林洵也君 B4	
〃	入選	大嶽伸君 B4	
久屋大通再生プロジェクト	銀賞	西山史見君 B4	
〃	銀賞	小林洵也君 B4	
〃	優秀賞	櫻井貴祥君 B4	
主張する「みせ」学生デザインコンペ 奨励部門賞	奨励部門賞	水野翔太君 B4	
〃	奨励部門賞	市井暁君 B4	
福岡デザインレビュー2015	本選出場	村越勇人君 B4	
建築新人戦 2014 アジア大会	準優勝	村越勇人君 B4	
建築新人戦 2014	優秀新人賞	市井暁君 B4	
〃	8選	大嶽伸君 B4	
〃	16選	西山史見君 B4	
〃	101選	太田侑作君 B4	
〃	101選	脇田亜佑美さん B4	
〃	101選	安部信汰君 B4	
関西建築系大学合同講評会	優秀賞	藤川大輝君 H25卒	
日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞	優秀賞	橋爪啓太郎君 H25卒	
〃	〃	木田脩太郎君 H25卒	
〃	〃	久保彰平君 M1	
〃	〃	〃	

## II 会員投稿

### ■三四会 55周年記念大会の開催

#### 榎並 邦夫 (S34) 三四会幹事

平成26年11月27日(木)～28日(金)、熱海温泉ホテル大野屋で大学卒業後55周年を記念してのクラス会を開催しました。

私たち三四会(昭和34年3月建築学科卒業生同窓会)では会員相互の絆を深めるため、歴代幹事の務めとして卒業後毎年必ず新年会を開催しており、会員有志による旅行会、花見会、ゴルフコンペなども随時開催してきました。そして5年ごとの節目の年度には記念大会を開催し、卒業後45周年大会を浜名湖、50周年は鎌倉での開催に続き、今回で8回目の開催となりました。

今回の参加者は存命の同級生35名のうち2組の夫婦を含む18名で、健康上の理由などにより前回に比べ8名も少なくなったことは少し寂しいことでした。宴会に先立ち10名の物故者の冥福を祈って黙祷し、記念写真の撮影後、お互いの健康と再会を祝しての乾杯に移りました。乾杯の発声は鎌倉での前大会の幹事を務めた澁谷弘二君にお願いし、全員声高らかに唱和しました。

午後6時過ぎから始めた宴会は昔話に花が咲き、酒量も大いに進みましたが、8時過ぎにとりあえず中締めということで、前回、前々回に続き今回も夫人同伴で沖繩から参加してくれた沢村宏明君に締めの一本をお願いしました。その後、会場を別室に移しての二次会ではカラオケを楽しむもの、酒杯を重ねつつ懇談するもの、碁盤を囲むものありと夜更けまで盛り上がりました。

翌28日、伊豆中央自動車の観光バスを借り上げ、熱海

から十国峠、大涌谷、芦ノ湖遊覧を経てJR小田原駅までのバス遊覧にはほぼ全員が参加しました。熱海から十国峠までの車中よく見えていた富士山も十国峠では生憎雲にかくれてしまいました。大涌谷の黒たまご館で昼食をとった後、芦ノ湖湖尻から遊覧船に乗り箱根関所跡まで湖岸を彩る紅葉を眺めながら湖上遊覧を楽しみました。芦ノ湖箱根関所跡で下船し、予定時間のほぼ午後3時過ぎにバスはJR小田原駅に到着し、2日間の記念大会も無事終了となりました。

三四会は平成27年度から清水 昭君が新幹事に就任しますが、これからも変わらぬ交流が続き、5年後の三四会60周年記念大会には傘寿を超えた会員が元気に多数集合しますことを心から願っております。



### III 卒業生は今

#### ■本部

##### 成田 憲人 (H10) (株) 大林組

入社以来大阪・福岡・京都と現場を渡り歩いて、東日本大震災が発生した2011年に、生まれ故郷である名古屋支店の営業に配属されました。10年以上も名古屋を離れると、名城線の環状化やビルの建替などで街は変わり、しばらくの間は異国の地に来たような感覚だったのを思い出します。

名古屋では営業として様々な建築物に関わりました。中でも受注した浜松の商業施設や信用金庫本店は難易度も高く、ぜひ現場でつくってみたい！と、無理は承知で現場配属を願い出たほどです。営業として入札から竣工まで関わり、竣工後に施主やそこを訪れる人の笑顔を見ると、現場では見えなかった建設業の素晴らしさがよくわかるようになりました。

最近色々な方と知り合う中で、面白いことに光鮫会を

はじめとした名工大OBの方々と会う機会が非常に増えてきました。中部経済での名工大のネットワークの広さ・人材の豊富さに驚いています。

今後は、施主・設計者・施工者が名工大のOB関係者によってできた建物というものを、私がぜひここで紹介できる日をめざして、精進していきたいと思います。



春華堂 niceo (ニコエ)



蒲郡信用金庫本店

##### 伊藤 勝之 (H19) (株) 日建設計

入社して6年が経ちました。振り返れば、携わった建物は多種多様の用途で、多くのメンバーと一緒につくってきました。そんな組織設計で働く面白さの一つとして、上司や仲間と「アイデアを織り重ねる」楽しみがあると感じています。

例えば、自分がけっこう攻め攻めの案を出して、先輩がいよいよこれはやり過ぎと余分をそぎ落としたシャープな提示があって、私も負けじと咄嗟の面白いアクセントを継ぎ足して。気がつけば先輩も私も納得するデザインへ。ひとりで考える時間も良いですが、それ以上に設計者同士のアイデアが織り重なって一つのデザインになる瞬間は、他では得難い楽しさがあります。

今年の4月に完成した地方テレビ局も、そんな設計メンバーとの楽しいアイデアのやり取りがかたちとなって出来た建物です。

しかし、アイデアを求められるときはいつも急なので、ある程度ストックしておきたくなりますね。私は海外旅

行で英気を養いながら現地の建築に触れることが、次につながるアイデアを多く蓄えられている気がします。今はそんな旅行の時間を確保するために、目の前の仕事と格闘の日々です。



今年4月に竣工を迎えた地方テレビ局

##### 山下 (旧姓：佐藤) 千尋 (H19) 積水ハウス (株)

学部卒業後、積水ハウスに入社。賃貸住宅を中心に、戸建・事務所・カフェ併用賃貸、学生寮、医院、デイサービス付ショートステイ等、様々な建物の設計を経験させて頂きました。

賃貸住宅の難しくもやりがいを感じる所は、1つの建物が様々な顔を持つ事です。入居者の「住まい」となり、施主の「資産」となり、街の人にとっては「ランドスケープ」となります。「資産」としては、建物ボリュームを取りコストを抑えるほど利回りが良くなりますが、「住まい」「ランドスケープ」としては、緑豊かで街の風景・歴史・生活に馴染むものにしたい。そのバランス感覚を大切にしています。

入社3年目、あるお施主様と出会いました。賃貸経営ベテランの大地主様。最後に残った竹藪急斜面を財産に変え周辺の施主賃貸と入居競合しないという難題を頂き、

悪戦苦闘の日々。斜面や既存樹を残し地形を楽しむ散歩道をつくる計画でご納得頂きました。擁壁を無くして造成費を抑えると共に、散歩道で芝の手入れをするお施主様の横を、入居者や散歩道を抜道にする近所の小学生が「こんにちは」と通り抜ける風景を得ることができました。賃貸住宅の3つの顔が一体だと気付いた瞬間でした。

作り手の愛着と物語のある建物には、笑顔が集まって来ます。自分の設計する一軒から、笑顔の輪が広がっていく事を楽しみに、日々頑張っています。



## 杉浦 雄太 (H19) 名古屋市

大学卒業後に試験を受け、平成20年に名古屋市役所に建築技師として入庁しました。気が付けば今年でもう8年目、歳も30代突入ということで、時の経つ速さに驚かされます。

最初は住宅都市局の都市景観室に配属され、3年目には室が分離する形でできた歴史まちづくり推進室へと異動し、計6年間、歴史的な建築物に関わる仕事をさせていただきました。建築技師らしからぬことも多く、1つめは、文化のみち二葉館、揚輝荘といった名古屋市が所有する歴史的建造物の管理・運営として、入館状況の把握や、イベント運営、HPやチラシなどの広報、建物修理、樹木剪定などを現地の管理者と調整しながら行いました。2つめは、揚輝荘の聴松閣という市指定文化財の公開に

あたり、修復整備にかかる予算要求などの調整や、管理のための条例作成、施設管理者の選定、館内の展示品製作などを行いました。3つめには、調査研究として、名古屋市が歴史的建造物をどのように活用してまちづくりを進めるべきかという検討や、ある学区の歴史的建造物の状況について地元の方と一緒に調査などを行いました。

7年目には都市計画課へと異動し、都市計画の決定にかかる手続きなどを行っています。都市計画は内容が広く、まだまだ日々勉強することばかりです。

名古屋市役所内にも「光鯨会」があり、現在約60名の会員がいます。皆様各所で活躍されており、それに負けないよう自分も頑張っていきたいと思います。

## 近藤 昭文 (H24) 愛知(株) 技術開発課

愛知株式会社、研究開発部 技術開発課の近藤です。

学部時代は木村研究室、大学院からは石松研究室に所属し、プロダクトデザインを中心にデザインについて学びました。昨年春から就職し、現在は教育施設や公共施設向けの家具の設計を担当しております。

弊社は教育施設の机・椅子において高いシェアを誇り、名古屋工業大学にも弊社の製品が使われています。また、デザインにも力を注いでおり、国内外を問わず様々な賞を獲得しています。

設計部署の仕事はデザイン部署の作成した図面を元に、試作、試験を重ねて規格製品として形をブラッシュアップしていくことです。また、不具合があった製品の設計変更やオプションの追加など、製品の幅を広げていく仕

事も担当します。私は入社二年目を迎え、ようやく自分の開発テーマを与えられるようになりました。現在は学校用机の改良や大学の講義室用椅子の開発を行っています。また、スタジアムシートや劇場用固定席など、幅広く関わらせて頂きました。

私の仕事ではデザインを考えるだけでなく、生産に向けての部材調達、試作、試算などをすべて担当します。覚えることも多く予定より遅れてしまうこともあります。先輩や上司に支えて頂きながら働いています。人数の少ない会社だからこそ、違う部署や外注先の業者様とも顔見知りになれることもこの会社のいい所です。設計の知識を習得し、将来は新製品のデザインに携われるよう邁進していきたいと思っています。

## ■関東支部

## 後藤 孝史 (H2) 戸田建設(株) 計画設計部

平成2年に大学を卒業し早いもので25年の月日が流れました。半沢直樹ではありませんがまさに「オレたち花のバブル組」。良くも悪くもいろいろ言われた世代です。

希望していた設計部に配属になったものの、当時の大量採用のあおりから半分は支店勤務の辞令を受け、いざ広島へ。3年間設計のイロハを学び、東京本社9年～関東支店9年を経て本社に戻り今に至っています。幸いにも設計一筋で仕事を続けさせてもらい、様々な用途の建物を経験してきました。ゼネコンの設計、特に意匠というポジションは、受注段階から竣工まで一貫して携わることが多く、客先対応・行政対応・社内調整等プロジェクトの要として動くことが求められます。多くの苦労はありますが「ものづくり」の中心的役割を担う自負のものと無我夢中の25年でした。会社での立場も少しずつ変わり、ともすると手を動かす機会が減ってしまっていますが、大学時代に培ったものづくりの原点を忘れてはいけなと、この寄稿を書きながら心を新たにす次第です。

現在は業務・商業施設系の室に所属し忙しい日々を過ごしています。担当プロジェクトの一つに、この7月に竣工予定の商業ビルに携わっています。銀座4丁目という中心地ではあるものの、立地条件を含めた制約が多く

難しい建物でしたが、縦基調の石とサッシ及び金属による上品で洗練された外観デザインが特徴です。随所でディテールにこだわり、質の高い建物が実現できそうです。

戸田建設には設計部をはじめとして多くの名工大OBが在籍し、活躍しています。私もその一員として光鯨会会員としての誇りを胸に今後も頑張っていこうと思います。



### 山崎 賢二 (H13) (株) 竹中工務店 技術研究所 構造部

「本日もご安全に！」構造実験棟での朝礼から一日が始まります。

私は2006年に入社して、かれこれ9年が経ちます。研究員として技術研究所に配属となり、2011年に大阪設計部に配転、構造設計業務に携わった後、2013年からまた研究所で働いています。

研究所のある千葉ニュータウンは北総台地の丘陵地帯にあり、強固な地盤で守られています。高層ビル群と広々とした壮大な景色が広がり、大型商業施設は親子連れや若者らで日々賑わっています。卒業後はじめて地元を離れての生活で最初は不安でしたが、居心地の良さからすぐに慣れ親しみ今では第2の故郷とさえ感じます。

入社後すぐに「革新的構造材料を用いた新構造システム建築物の研究開発」のメンバーに加わりました。内閣府総合科学技術会議で府省連携PJとして推進決定を受けて始まった本開発では、産官学の協力で進められる大規模な研究開発のダイナミックで精細な開発プロセスを体感しました。建築関係者が利害を超えて丸で取り組む様子は日本の建築分野のさらなる発展を予感させます。

2年間在籍した設計部では、研究所とはまた異なる刺激の溢れる毎日でした。数多くの物件を担当して、建築主を含め様々な関係者と協業することで研究所では経験できない設計者としての醍醐味を味わいました。なかでも長野県茅野市に計画されたある企業の保養施設は、極度の短期間でぎりぎりまでの変更にも追われる中で、設

計・設備・技術の各担当者と共に寝食を忘れて血眼で対応して最高の作品を作り込みました。竣工時の感動はいつまでも忘れることはできません。

現在は研究所に戻り、日夜研究開発に取り組んでいますが、これまで培ってきた知識や多くの人脈は自分自身の視野を広げ、入社当時とはまた異なる視点や考えを生み出していると感じます。厳しく困難な課題に何度も直面し、挫折しそうな自分を奮い立たせて過ごしてきた日々は間違いなく自身の成長に結実しているのでしょう。振り返ってみると恥ずかしくもこんなにも誇らしく語れるのですから。今は専門分野を超えた長期研究開発にも取り組み始めています。さらなる成長を期待して。



### 宇津宮 崇司 (H15) (株) 大林組 生産技術部

2003年に大学院を卒業後、大林組に入社し、名古屋勤務で4年間、東京勤務で7年間を現場監督として勤務いたしました。名古屋では2件の現場(大学)、東京では5件の現場(スポーツ施設・物流倉庫・商業施設・事務所等)に携わり、ものづくりの基礎を学ばせていただきました。

今現在は、生産技術部という施工支援部門に約1年間勤務しており、現場勤務よりも少し川上の立場で見積物件・実施物件に携わっています。

現場勤務で最も印象に残っているのは、東に国会議事堂、南に首相官邸が立地する敷地で、PFI事業として議員活動の拠点である「衆議院議員会館」を解体・新築したことです。建物から2mという近接した所に現職の議員執務室があり、振動騒音、目隠しに大変気を使う工事でした。国政業務に支障のないように各施設の工事を進め、新旧の入替を行いながら、全体工期に約7年の歳月を費やすプロジェクトで、私自身は後半の3年半に渡り携わりました。最も繁忙期には職員数100名超、一日の作業員数が2,000名を超える中で、すべての方々が力を合わせて業務に臨んだ結果、無事竣工を迎えることができ、多くの方々と喜びを分かち合いました。

建物の大小を問わず、一つの建物を完成させるまでには、非常に多くの方が関わり合いを持っています。開発計画から設計へ、設計から施工へ、施工から保全・維持管理へバトンを渡し、立場は違えど、同じ目標に向かって様々な方が共に協力し合い、それぞれの得意分野で力

を發揮することで建物が完成するものと思っています。完成した建物を目の前で体感し、その喜びを多くの方々と共有できることが建築の醍醐味の一つではないでしょうか。

日々の激務はそれぞれにあるかと思いますが、創り上げた後の達成感は何事にも替え難いものであり、その喜びを味わうためにと励んでおります。

いつかまた、多くの方とともに建物を創り上げる日を楽しみにしつつ、自己の成長のために日々精進してまいります。



## ■関西支部

### 大片 幹貴 (H5) (株) 鴻池組 建築設計部

大学を卒業して今年で二十二年になります。気がつけば、(65歳定年とすれば)社会人として折り返し地点にいることになります。振り返ってみると、この二十二年は様々に社会状況が変化し、それに伴っているいろいろな問題が次々にあったといえます。

それは私が携わる設計の現場においては、度重なる事故や事件に対する法令の厳格化、また地球温暖化への対策として省エネ法などの新しい法律ができ、その一方で景気対策のための規制緩和など、日々変化する様々な問題の対処に追われながら今日まで来た、という感じがあります。

そうした忙しい業務に追われる日常の中でふと思うのは、若い頃に教わったたくさんのことが今の自分にとってどれだけ役に立っているのか、ということ。そして自分が若かった頃の先輩たちと比べて今の自分は同じように仕事をこなせているか、ということです。若い頃に教わったたくさんのことの中で現在の業務の中で実行していることがあります。それは、ひとつのプロジェクトにひとつのテーマ(課題)をもって臨むということです。

二十代半ばに受け持った業務で図面担当になった時、当時プロジェクトマネージャーであった方からプロジェクトについての説明をうけた中で、その方なりのテーマが何かを聞き、そしてどんな物件でも自身のテーマを設けるよう心がけていることを聞いたとき、自分はそんなことができるようになるのか、できるようになりたいと思ったことを覚えています。

仕事を覚えるのに必死だった頃を経て、多少なりとも経験を積んで業務をこなせるようになると、言われた業務を日々こなすだけになってしまいがちになります。そんなときはその方の言われたことを思い出し、自分なりのテーマを決めて、プロジェクトに臨むようにしています。例えば図面を新しいキヤドを使って描いてみる、というような今までにしたことのないことに挑戦してみる、といったことです。そうした小さなことの積み重ねが、いずれ自分にとって血になり骨になるのだと思います。

そして次の世代にこのことを伝えることができたのなら、今の自分はある頃の先輩達に追いつけたのだと思います。

### 中込 (旧姓: 館) ゆみ子 (H20) (株) フジタ

大学院を修了してから(株)フジタに意匠設計として入社し、今年で6年目になりました。入社5年目までは東京の本社で、冷凍冷蔵の物流倉庫、庁舎(町役場)、大学の校舎などの物件を担当しました。実際にじっくり関わって形になったと言えるのはまだ3件ですが、ひとつひとつの物件に思い入れがあります。当社では、建物規模によりまずがある程度の物件までは基本的に2人の意匠設計者で担当します。そのため、基本設計~実施設計~監理までのほとんどの部分を若いうちからOJTで学んで一通りを任せてもらえるやりがいがあります。

昨年の秋からは転勤で大阪支店に勤務し、共同住宅の設計をしています。初めての用途で学ぶことも多く、設計者として一人前になるにはまだまだだなあと痛感する日々です。

また、プライベートな話で、転勤と同時期に結婚しま

したが夫は東京勤務のため現在は別居婚です。平日の仕事を終えて、毎週末東京へ新幹線で帰る生活は身体が休まらずこの生活をいつまで続けられるか葛藤する日々ですが、今は修行の時と思い頑張っています。女性が総合職として働き続けるにはこれからもっと沢山の壁にぶつかるとは思いますが、その都度後悔のない選択をしていきたいです。



ドブロブニク - 新婚旅行にて -

### 祖父江 美枝 (H21) (株) フジタ

(株)フジタに構造設計として入社し5年目になります。初めの3年間を東京の本社で過ごした後に転勤し、今は大阪支店で働いています。本社時代に比べ支店では、他部署との距離が非常に近いと感じます。そのため、コストや施工性に対する意識が高くなり、設計の立場で会社に利益を生むためにはどうすべきかと考えるようになりました。

大阪支店では、マンションと物流倉庫の物件が多い傾向にあります。現在、私自身もRC免震構造マンションの設計業務に携わっています。今は7月の性能評価申請に向けて業務に邁進しています。他の仕事も同じかとは思いますが、構造設計業務では、明快な正解というものはありません。検討が実際の事象と合っているか、設計方針の筋が通っているかを試行錯誤しながら、結論を出していく仕事です。社内・社外問わず多くの方に教えて

いただきながら経験を積み、構造設計者としての力をつけていきたいと思っています。

話は変わりますが、6月の週末、名工大・建築の旧友と京都へ小旅行をしました。大阪・愛知・香川から計5名が集まりました。旅行中に京都駅屋上展望広場からヘリポート越しに撮った夕焼け写真を載せます。今携わっているマンション物件にも同じようなスペースがあります。この時は夕陽を眺めながらもヘリポート廻りが気になってしまいました。休日でも担当している物件の類似建物があると、そちらが気になって観察しまう、そんな日々を過ごしております。



## IV 光鯨会は今

### ■会長挨拶

岡本 賢 (S39) 光鯨会会長 / (株) 久米設計



光鯨会では会員同士のコミュニケーションのための様々な取り組みが行われていますが鈴木禎次賞はその大きな事業です。隔年毎に開催してまいりました

が今年はその開催年となり4回目を迎える事になりました。毎回ゲスト審査員を有名建築家をお願いしています。第1回目は妹島和世さん、第2回目は内藤廣さん、第3回目は隈研吾さん、第4回目の今年には山本理顕さんをお願いしています。山本さんは斬新なデザインの作品を創る事に加えて公共建築に厳しい視点をもっている建築家です。この鈴木禎次賞は組織設計が対象ですので比較的公共建築が多い特徴があります。この賞にふさわしい審査員ではないかと思ひます。この賞も回数を重ねる事によって社会的な評価を得ていけると思ひます。是非会員の皆様やその関係者から多数の応募を頂いてこの賞を支援して頂きたいと思ひます。その中から名工

大OBの作品が選ばれる事を期待しています。

昨年行われた名工大建築・デザイン学科ネットワークキャンパスがもう一つの大きな事業になっていきます。スターツ株式会社の副会長を務めていらっしゃる関戸さんの発案で光鯨会副会長の野呂さんが様々に努力して頂いて昨年8月にスターツ本社の会議室をお借りして開催しました。趣旨は名工大の学生に先端的な建築の実務の現場を東京で体験してもらって東京で活躍するOBや建築家と交流し、社会的な体験を名工大に持ち帰ってもらいたい事です。同時に学生のインターンシップの一助になればという事から始められました。多くの大学院生や学部の学生が2泊3日の日程で講義や実習・現場研修に参加してもらいました。参加した学生に大きな刺激になったのではないかと思います。今年もまた8月に第2回目を実行していく予定です。会員の皆様の中で講師をお願いすることもあると思ひますが是非積極的に御支援をお願い致します。この事業が鈴木禎次賞と共に光鯨会の大きな事業の柱になっていく事を期待しています。

### ■本部だよりー総会・見学会の報告

小山 裕康 (S54) 光鯨会本部幹事長 / トヨタ T&S 建設 (株)



本部では、5月23日に見学会、評議員会、総会、懇親会が開催されました。

見学会は「名古屋城のひ・み・つ」と題し、本学の麓教授 (S54) に天守や本丸御殿の成り立ちや、現在の御殿復元に関する普段では聞けない話を説明頂き、その後名古屋城のガイドツアーで現地見学を

しました。参加者の皆さん (35名参加) はより深い視点で見ることができたものと思ひます。また、創建当初の建物は残念ながら戦争で焼失しましたが、本学の先生方のお蔭で詳細な実測図が残っているため、現在の天守外観はほぼ忠実な復元となっておりますし、復元工事の中の本丸御殿も同様です。「尾張名古屋は城でもつ」と言われた日本一の名城復活がこの地方の新たな魅力となることが望まれます。

評議会・総会では、昨年度の状況報告や今年度の計画等を報告し承認されました。また、これまで副会長としてご尽力頂きました長谷川孝氏 (S38) と田中勝男氏 (S38) が退任され、新たに岡崎格郎氏 (S46) と勢力常史氏 (S48) が選任されました。

懇親会は学内の学生会館で行われ、現役院生・学生約30名を含めて約80名の参加がありました。今

年はフレッシュなメンバーが多く加わり、特に現役には諸先輩の話を伺えたことで新たな発見があったのではないかと思います。OBの方も若い方の輝く目を見て頼もしく感じたのではないかと思います。ここでしかできない同窓の絆を深めて頂く貴重な機会となりました。改めて明治の時代から108年引き継がれてきた同窓の集まりである光鯨会の大切さや、これを支えてくれた諸先輩があつて初めて今の自分があることなど心に刻みました。

今年度も幹事一同本会を盛り上げて参りたいと思ひます。皆様、是非とも会費の納入や各種イベント等への参加をよろしくお願ひします。



本部 / 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町  
名古屋工業大学建築・デザイン工学科 (052-735-5517)  
会長: 岡本 賢 (S39) 本部長+連絡担当者: 井戸田秀樹 (S58)

## ■関東支部だよりー全国大会のお知らせ

鹿島 孝 (S59) 光鯨会関東支部長 / (株) 竹中工務店



関東支部ではゼネコン5社が持ち回りで事務局を行っており、今年度と来年度は(株)竹中工務店が担当し、私、鹿島が支部長を務めます。よろしくお願ひします。

さて、今年度の光鯨会全国大会は関東支部が担当します。昨年10月より全国大会実行委員会を結成し企画を検討してきました。そして4月の支部役員会で11月28日に開催することが決定しました。エクスカーションは東京駅周辺の有名建築を散策します。はじめに集合場所でもある三菱一号館、次にJPタワー、最後に東京駅とまわり、総会・懇親会会場であるサンケイプラザへ移動します。それぞれの施設では一般公開されている資料館やギャラリーを見学していただくほかに、建物のみどころを解説した「旅のしおり」を作成し楽しんでいただけたらと考えています。関東以外からも多くの方の参加を期待しています。また、総会・懇親会の会費は卒業年度による割引もありますので、お近く

の若い人にもお声掛けいただければ幸いです。出席のご連絡は、同封の「光鯨会全国大会ご出席通知」のはがきをお送りいただくか、メールまたはFAXで10月末までにご連絡ください。

◆開催日：11月28日(土)

① 13:30～16:30 エクスカーション(13:00より受付)

場所：三菱一号館中庭に集合

東京都千代田区丸の内2-6-2

(JR東京駅丸の内南口より徒歩5分)

② 17:00～19:00 総会・懇親会(16:30より受付)

場所：サンケイプラザ

東京都千代田区大手町1-7-2

(地下鉄大手町下車A4・E1出口直結)

会費：6000円、H17～H26卒は半額

H27新卒(院卒を含む)は無料!

◆連絡先：(株)竹中工務店技術研究所 宇佐美徹

FAX：0476-47-6460

E-mail：usami.tetsu@takenaka.co.jp

〒270-1395 千葉県印西市大塚1-5-1

(株)竹中工務店技術研究所 宇佐美徹 (0476-77-1342)

支部長 鹿島孝(S59) 副支部長 永田敬雄(S45)

副支部長 工藤利昭(S61) 連絡担当者 宇佐美徹(H03)

## ■関西支部だよりー総会・見学会の報告

蔦田 守弘 (S52) 光鯨会関西支部長 / (株) 鴻池組



関西支部では、堂島の中央電気倶楽部で定例会を年5回開催し、会員相互の親睦を深めています。

第1回目は2月6日(金)、昨年の支部総会の報告や、今年の総会に向けての活発な意見交換会を行いました。

第2回目は4月3日(金)、名工大の夏目先生をお招きして「名古屋の近代化と篠田進の建築」と題したミニ講演会を行いました。名古屋の近代化の変遷を大変興味深く伺いました。

第3回目は6月5日(金)、若い会員を多く招いてフレッシュな意見交換や情報交換の場になりました。今年も若い会員の拡大と活発な支部活動を展開していきたいと考えています。今後は8月と10月に予定しており、そして10月24日(土)には支部総会を行います。

今年度は、新神戸駅前にある日本で唯一の大工道具の専門博物館である竹中大工道具館を見学し、その後支部総会を行います。竹中大工道具館は展示品のみならず、建築自体も非常にデザイン性に優れた

必見の価値のある博物館です。

総会に先立つ講演会では、名古屋工業大学の鶴飼学長をお招き致します。鶴飼学長より、「名古屋工業大学の精神と将来のすがた」と題して、来年は創立111周年を向かえる母校の未来戦略などの貴重なお話をお伺いする予定です。

また、9月26日(土)に開催予定の名古屋工業会大阪支部総会は、光鯨会が運営担当科となっています。建築学科ならではの企画として、世界の建築20選に選ばれた「梅田スカイビル」で総会を開催します。このビルの工事の陣頭指揮を取られた吉永深氏(S38)から、話題となった空中庭園のリフトアップ工法についての講演をお聞きして、その後は地上170mの空中庭園から大阪市内を一望していただこうと考えています。

ふたつの支部総会は、このような工夫をこらした企画ですので、皆様、是非奮っての参加をお願い致します。

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-6-1

(株)鴻池組 藤澤繁男(06-6245-6315)

支部長 蔦田守弘(S52) 副支部長 黒田龍二(S53)

連絡担当者(事務局長) 藤澤繁男(S53)